

高校生の進学 給付型奨学金の申し込みはお早めに

高校3年生で進学（大学、短大、専門学校など）する児童がいるFHも増えてきていて、文科省でも住民税の非課税世帯の進学率の推計値が、40%ほどしか進学していなかった頃から、この制度ができてからは50%ほどに増加したことを確認しています。今まであきらめていた進学をあきらめないで勉学に励むことができるようになってきています。

次年度（令和4年度）に奨学金を希望する「予約採用」の申し込み受け付け終了は7月末頃になります。申し込み希望のFHは早めの対応をしてください。なお10月にも申し込みはできますが、期間が短いです。また高校によっては7月までの申し込みを短くしたり、10月は受け付けなかったりすることもありますので、そのことも確認してください。また「貸与型奨学金（返済義務あり）」もありますが、社会的養護の児童はほぼ支援対象になります（本人の所得・資産のみで判断されるので）。

支援額については、「高等教育の修学支援新制度について」（文科省高等教育局 学生・留学生課 高等教育修学支援室）を引用しました。

申し込みは 在学高校・大学になります。

進学してからも申し込みはできますよ。

在学中の児童も申請できますが、在学先に確認してください。



高校2年生までの成績の平均値が3.5以上とされていますが、それに満たなくてもレポートで修学意欲があればOKです。

授業料等減免上限額（年額）

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約8万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

給付型奨学金の支給額

		居住に要する費用の支援が必要ないもの		左記以外 本人が居住費を負担している場合	
		月額	年額	月額	年額
大学 短大 専門学校	国公立	33,300 円	約 40 万円	66,700 円	約 80 万円
	私立	42,500 円	約 51 万円	75,800 円	約 91 万円
高専	国公立	25,800 円	約 31 万円	34,200 円	約 41 万円
	私立	35,000 円	約 42 万円	43,300 円	約 52 万円

通信課程は一律 年額 51,000 円です。

- 給付型奨学金と授業料・入学金はセットで支給されます。
- 進学先の入学金や授業料と差額がある場合は支払いをします。
- 入学金や授業料の支払いに支援制度があります。

都道府県の社協 日本政策金融公庫 労働金庫

日本学生支援機構

詳しくは前ページ「支援額は…」を参照してください。

高校 2 年ころから進学を決めていくそうです

中学生からこの制度を教えてほしいと文科省担当者からの声がありました



News letter news letter news letter news letter